

通学課程全体 3つのポリシー

【ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)】

大手前大学は、本学の建学の精神、目的、使命および教学運営の基本方針に基づき、社会に貢献できる価値ある人材として認める学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。所定の期間在学し、使命および教学運営の基本方針に基づいて設定された授業科目を履修して、基準となる単位数、専攻プログラム、必修プログラム等を、定められた成績評価基準を満たして修めることが学位授与の基準となります。

本学は、学生の学修成果を可視化し、厳格かつ公正な評価基準に基づく成績評価を行うことにより、学位授与者が建学の精神である“STUDY FOR LIFE(生涯にわたる、人生のための学び)”を実現するのに必要な以下の知識、実践力、信念と志を有していることを保証します。

1. 豊かな教養と専門知識およびその活用力を有している。
2. 優れた国際感覚と他者と協働して問題を解決する能力を有している。
3. 豊かな人間性と肯定的自己概念および社会的責任を果たそうとする強い意志を有している。

【カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)】

大手前大学は、本学のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)が定める知識、実践力、信念と志を有し、社会に貢献できる価値ある人材を育成すべく、以下の方針に基づきカリキュラムを構築します。

1. 本学の教育課程は、リベラルアーツ教育を重視しながら編成されます。

各学部における専門教育を柱としつつ、さらに学生は主体的に専門分野の垣根を越えた幅広い知識や問題解決力を身に付けます。学修の成果を上げるために、カリキュラムは学術の系統性や学修の順次性に配慮して編成されます。

初年次教育やキャリア教育も本学のリベラルアーツ教育を構成します。入学から卒業までの教育課程を通じて、学生は地域あるいは国際社会の多様性を知り、変化や困難に柔軟に対応する能力を身に付けていきます。

2. ディプロマ・ポリシーにあるように、本学の教育は、幅広い知識を身に付け、これを活かして他者とともに問題の解決にあたる力を養成し、さらには学修の内容や活動の振り返り(リフレクション)により、豊かな人間性と肯定的自己概念および社会的責任を育むことを目的としています。カリキュラムにおいては、他者とともに課題解決のプロジェクトを通して学ぶPBLを取り入れ、さらに専門分野の垣根を越えて広く豊かな学術の知見を用いて解決策を考えるクロスオーバーの学びと、教室を飛び出し実際の社会(フィールド)に向いて実践的な探究活動をおこなう越境(クロスバウンダリー)の学びを重視します。

知識を得て、実践し、その経験の振り返りをおこない、また新たな知識を求める。このようなサイクルを繰り返して学生が能動的に自らを高めていくのが本学リベラルアーツ教育の学修方法の柱となります。

そこで、このような教育を実現するために、本学の各授業科目は、下記の項目(ディプロマ・ポイント)を一つ以上含んで構成されるものとします。

ディプロマ・ポイント:

① Knowing(知識とリテラシー)

1. 教養と専門知識
2. 知識・情報を活用する力

② Doing(実践力)

1. 国際感覚
2. 協働的問題解決力
 - (1)対人基礎力
 - (2)對自己基礎力
 - (3)対課題基礎力

③ Being(信念と志)

1. 豊かな人間性と肯定的自己概念
2. 社会的責任

3. 以上の学修の成果は、まず成績をもって評価されます。成績評価は、その基準がシラバスによって明示され、厳正かつ公正におこなわれます。また、成績と同時に外部アセスメントや定性的評価の手法をも加味して多角的に評価がなされ、可視化がおこなわれます。

4. 本学の教育課程は、地元自治体や企業、他学の教員等から編成される外部評価委員の意見、また学生からのアンケート調査の内容をも踏まえて、不断の点検と改革がおこなわれます。これにより、常に教育の質が保証されます。

ディプロマ・ポイントについて

ディプロマ・ポイントを学部毎の3つのポリシー内で記載する場合は、以下のとおりとします。

■個々のディプロマ・ポイントを示す場合

ディプロマ・ポイント①の1.を示す場合 … DP①1 と表記

ディプロマ・ポイント③の2.を示す場合 … DP③2 と表記

■複数のディプロマ・ポイントを示す場合

DP①1とDP①2を示す場合 … DP① と表記

DP①とDP②2 を示す場合 … DP①、DP②2 と表記

【アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)】

大手前大学は、本学の建学の精神、目的、使命および教学運営の基本方針に共感し、知識、実践力、信念と志を育み、社会に貢献できる価値ある人になろうとする意欲と能力に富んだ学生を求めています。また、さまざまな適性と多様な背景を持った学生を国内外から幅広く受け入れます。

そのために、基礎となる学力の3要素である①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を多面的・総合的に評価するための多種の選抜方式を用意し、公正かつ厳正な選考を行います。

具体的には、本学は以下のような素養と意欲を備えた人材を高く評価します。

1. 豊かな教養と専門知識およびその活用力を修得するために必要な基礎的知識・能力
2. 優れた国際感覚と他者と協働して問題を解決する能力を身に付けようとする意欲
3. 豊かな人間性と肯定的自己概念を獲得し、社会的責任を果たそうとする意志